



日本ウッドデザイン協会のマークを制定しました

協会マークは、主に当協会及び会員だけが使用できるものとして制定しました。森林から木材利用まで幅広い業種、分野、地域と連携して活動していることを発信する手段として、ホームページやカタログ等の制作物、広報活動に協会マークが利用でき、ブランド価値の向上にお役立ていただけることを願っております。

ロゴマークのアイデアは、7年間運用し、社会に認知されている「ウッドデザイン賞マーク」のイメージを踏襲しつつ、賞のマークとの混同を避け、かつ団体名の略称（JWDA）との組み合わせでデザインしました。

タグラインのアイデアは、日本ウッドデザイン協会の定義、「木を活用した社会課題の解決をめざす取り組み＝ウッドデザイン」を実現するため、多様なステークホルダーとの対話と協力、協働と実行をワード化しました。

■ロゴ+名称タイポグラフィ+タグライン



(参考)
ウッドデザイン賞受賞のマーク



■タグラインが伝える意味

もっと、木と語ろう。

もっと、木と遊ぼう。

もっと、木と学ぼう。

もっと、木とふれ合おう。

もっと、木と暮らそう。

もっと、木と

本協会では、一緒に活動していただける会員を絶賛募集中です！